



敬愛

校長 持田 晃

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

「調べ、考え、体験し、学びを深める」

校長 持田 晃

「春は種をまき、夏に水と日差しを浴び、秋に実りを迎える」という言葉があります。これは教育用語でもあるのです。春には学びのための種をまき、興味・関心を高めているいろいろ思考し、幾度となく試行錯誤し、工夫を加えることで学びを深めることになります。

皆さんは、春に何を迎えましたか？そうです。新学年になったのです。そして、新しい学びである教科書ももらい、タブレットを使いながら調べたり、意見交流をしたり、様々な学びを体感してきました。それが、どう成果につながってきたか、秋になると実りとなって表れるということです。どういう実になったかは、人それぞれです。でも、それですべてが終わるわけではありません。冬にしっかりと土に栄養を与えることで、翌年の実りはさらに変わってきます。時には台風や長雨、日照不足などの不測の事態にさらされて生育不良になってしまうことがあるかもしれません。それでも、それに対処しながら、成長を続けていくのです。実に人の成長と似ていると思う部分があります。

ということは、生徒の皆さんも同じです。じっとしては、栄養ある土壌はできません。自分自身に学びの栄養を注ぐことで、太い幹となり、多少の風雨には負けない根ができ、見事な実りにつなげていきます。少しぐらい、折れたって、へっちゃらという信念も成長に欠かせない土壌を耕す栄養になるかもしれませんね。

さて、下の学びの写真は2年生です。左は、ポッチャ大会です。昨年から引き続いていきますので、新たな土壌の上に実った姿です。班ごとに楽しみながら、学びを深めることができました。また、右の写真は、校外学習である都内めぐりの計画を立てているところです。班ごとにテーマを決めて「東京の魅力」を探っています。他者の意見を聞き、自己の考えを伝え、皆で協調し、実地することで、新たな苦難と遭遇し、解決していくことは、一人ではできないことであり、学びを深める絶好の機会です。9月2日（金）は、時折、すごい雨が降るなど、たいへんな一日でしたが、トラブルはどの班も回避することができ、無事に帰校しました。1年生は、11月に鎌倉校外学習がありますね。見知らぬ土地を班員で歩くということは結構大変なことです。しっかりと準備をしていってください。そして、そして、そして3年生は、9月26日（月）から修学旅行に出かけます。3年ぶりです。期日は、新幹線の修学旅行専用列車の抽選で2年前に決まりました。月曜日からなので、29日（木）は17日（土）の振替休日をもってくる特別な教育課程としました。「調べ、考え、体験し、共に学びを深めて」いきましょう！絶対、晴れる！

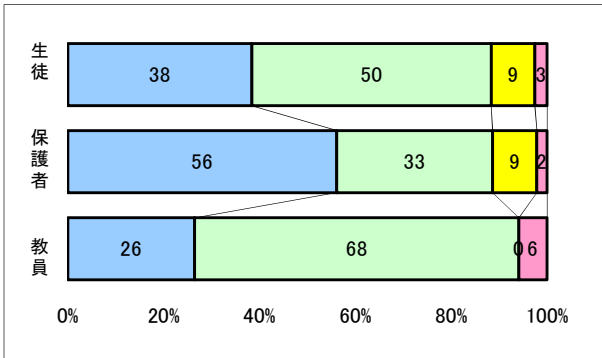


アンケート結果：昨年12月と今年7月の比較（抜粋） ＊生徒、保護者、教員の三者比較

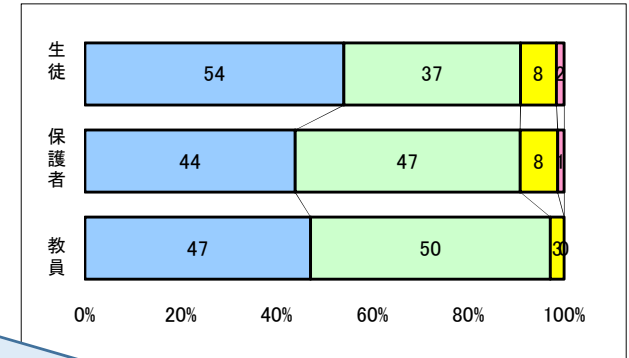
ご協力をいただきましてありがとうございました。

【質問1】 正しい姿勢で座り、ノートきちんと取るなど、集中して授業を受けることができた。【じ】

<3年度12月>



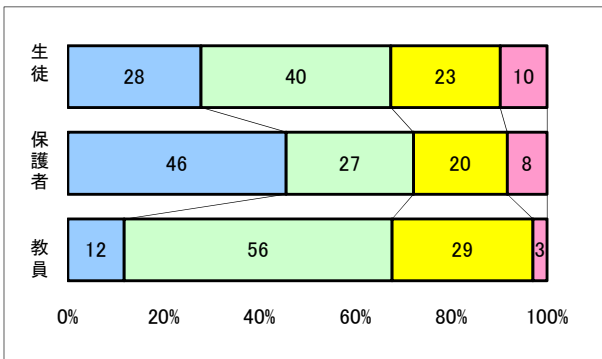
<4年度 7月>



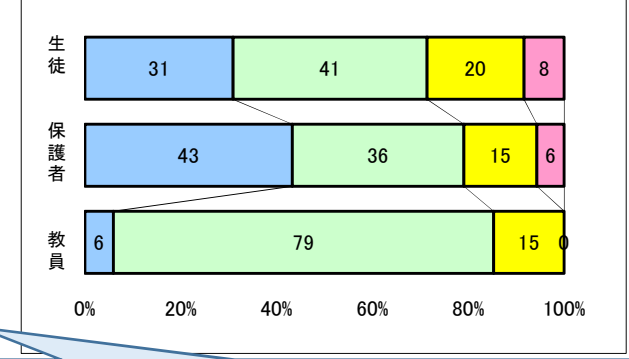
生徒、教員では「あてはまる」が伸びています。続けていきましょう。

【質問2】 授業に必要な教科書、ノート、資料集、提出課題などの忘れ物がなかった。【じ】

<3年度12月>



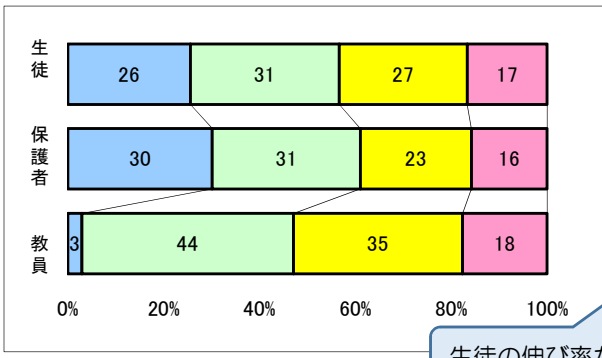
<4年度 7月>



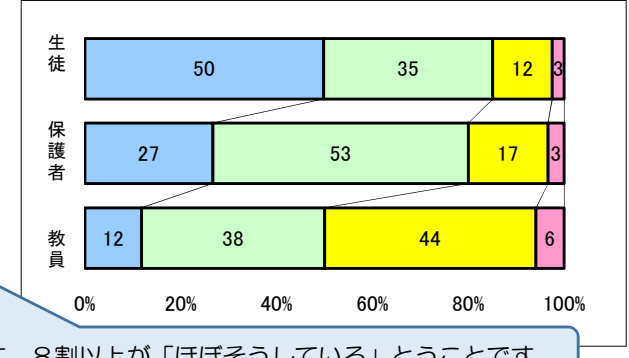
教員からは、肯定的な捉え方になっています。

【質問6】 家庭学習に毎日取り組んでいる。

<3年度12月>



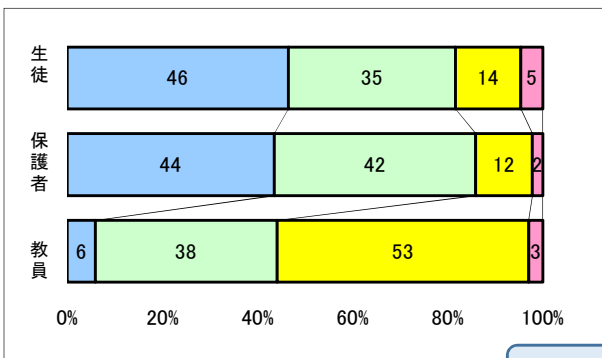
<4年度7月>



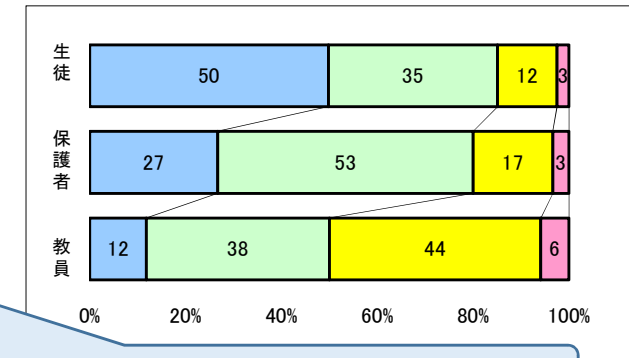
生徒の伸び率が高いです。8割以上が「ほぼそうしている」とうことです。

【質問14】 先生や来校者の方に、自らすすんであいさつすることができた。【あ】

<3年度12月>



<4年度7月>



全体的に伸びています。マスクで表情は見えないけど、心は笑顔で。

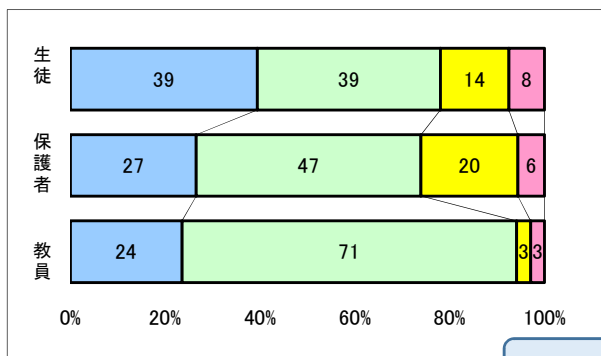
グラフの見方



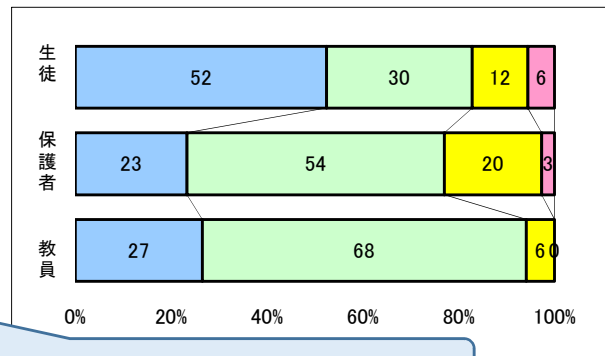
【じ】【あ】は「みそあじ」の表示、*は設問の言葉の変更を意味しています。

【質問18】 悩みや相談があるとき、学校や身の回りに、応じてくれる大人がいる。*

<3年度12月>



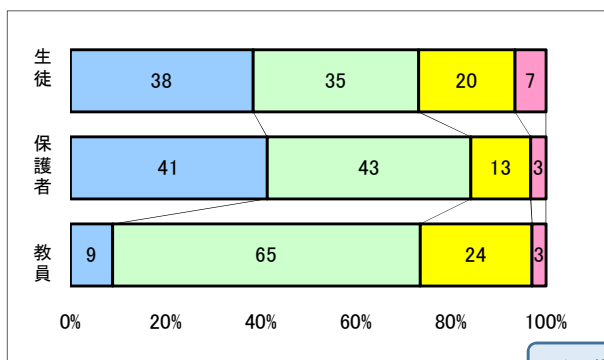
<4年度7月>



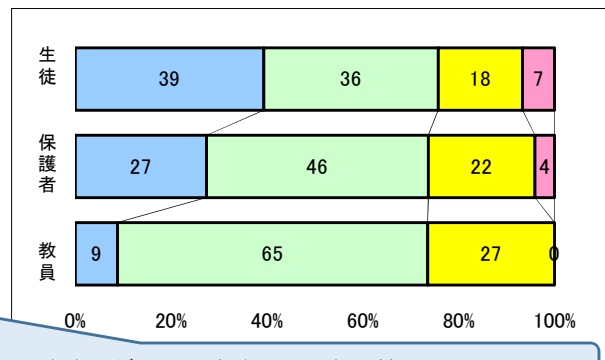
「そう思う」が増えています。2回三者面談もありました。

【質問21】 将来の進路や生き方について考えている。*

<3年度12月>



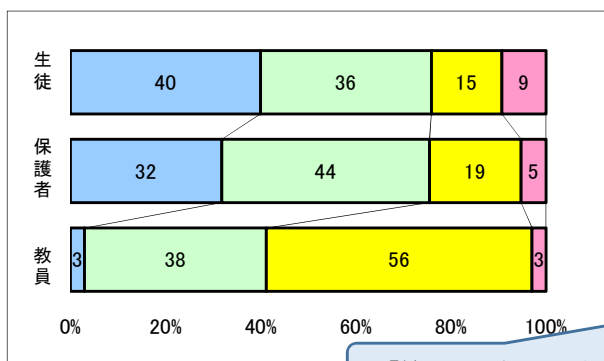
<4年度7月>



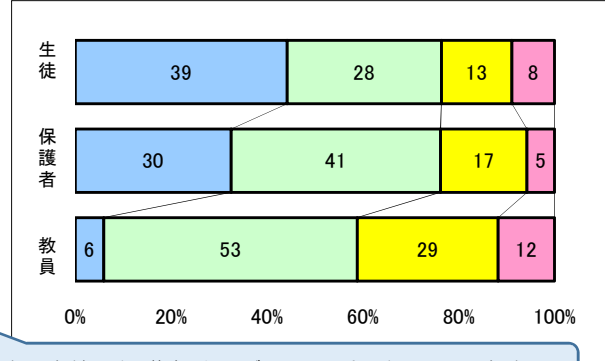
保護者の捉えは、やや下がっています。思いを言葉にしてみよう。

【質問24】 家庭で、保護者とスマホやパソコン、携帯電話などの安全な使用やルールをしっかりと話し合っている。

<3年度12月>



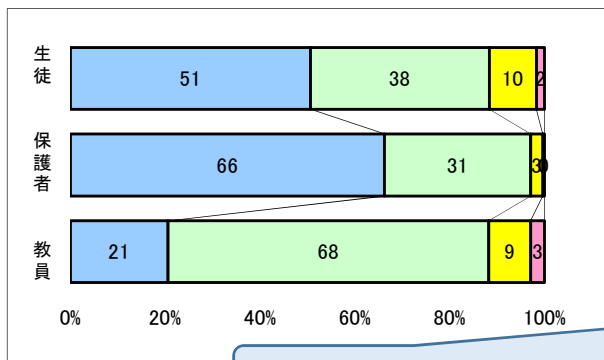
<4年度7月>



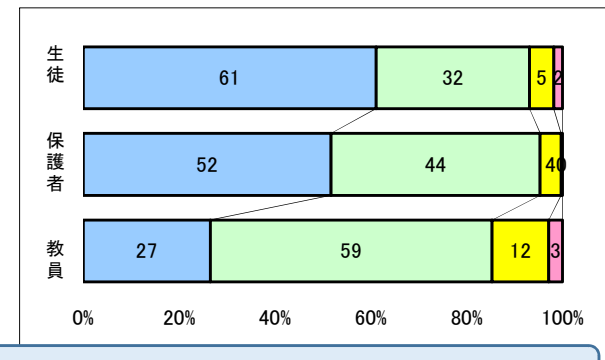
「持っていない」は除いています。生徒、保護者はほぼ同数に近くなっています。

【質問27】 コロナウイルス感染拡大防止への意識をしっかりとって行動することができた。

<3年度12月>



<4年度7月>



少しずつ慣れてしまっているか？そうではないです。生徒は89%から93%に伸びています。

私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓
NO48

「言葉の力」

教諭 平澤 史行

この一言というわけではありませんが、私はつい先日「言葉の力」を実感しました。

数か月前に私の祖母が天国に旅立ちました。祖母は亡くなる少し前まで入院していて、点滴で栄養を取っており、喋るどころか自分でものを食べることもできない状態でした。そのため、病院から戻って私が面会できた時には、極度の飢餓状態で意識もほとんどありませんでした。

ひどくやつれた祖母に対して、私はこれまでの感謝を涙ながらに必死で伝えました。すると、祖母の目からは涙が流れていて、「意識がなくても自分の言葉は祖母に届いている！」「最期に思いを伝えることが出来て良かった」と感動しました。

言葉には力があります。どんなに拙い言葉でも、心を込めて相手に伝えれば、きっと相手には思いが伝わります。

中学生の皆さんは、家族の存在を当たり前にしてしまうかもしれませんが、後悔の無いように日頃から周囲の人たちに感謝の言葉を伝えてください。

三中生の活躍

(敬称略)



和太鼓部

「第10回 府中市和太鼓コンクール」
「優秀賞」 府中第三中学校 閃 光

吹奏楽部

「第62回 東京都中学校吹奏楽コンクール」
B組 「銀賞」 府中第三中学校



水泳部

「第63回府中市民体育大会夏季大会」					
中学対抗団体戦 「第三位」		府中第三中学校	56点		
中学校対抗の部					
背泳ぎ	100m	「優勝」	1分17秒81	2年	伊藤 椋羽
	50m	「優勝」	33秒98	2年	酒井 柊貴
平泳ぎ	100m	「優勝」	1分15秒12	2年	三浦 大季
	50m	「優勝」	34秒88	2年	三浦 大季
バタフライ	100m	「優勝」	1分07秒94	2年	酒井 柊貴
	50m	「準優勝」	32秒30	2年	伊藤 椋羽
自由形	50m	「第三位」	40秒52	1年	廣川 敦哉
メドレーリレー		「優勝」	2分17秒11		
	2年 伊藤 椋羽	／ 酒井 柊貴	／ 三浦 大季	／ 1年 廣川 敦哉	
フリーリレー		「準優勝」	2分05秒82		
	2年 伊藤 椋羽	／ 酒井 柊貴	／ 三浦 大季	／ 1年 廣川 敦哉	

男子テニス部

「東京都中学校テニス選手権大会 第9ブロック予選（ダブルス）」
「第11位」 2年 細井 大樹 / 1年 碓井 順也

新入大会
出場!!